

## B—80 洗淨によるはだ着材料の性能の変化について

千葉大 市原 栄子  
文部省初中局 ○松本 芳枝

1. はだ着として要求される性能のうち、吸湿性および水蒸気透過能について、その洗淨による変化をしらべ、あわせて衣服気候におよぼす影響を検討する。

2. 試料：市販のモメン、モメン・アクリル混紡、アセテートの既製はだ着、およびモメン、レーヨン、キュプラ、ナイロン、ポリエステル繊維の自製はだ着。洗淨方法：かく拵型電気洗たく機で、浴比1:25とし、常温で予洗10分、本洗い30分（マルセル石けん0.25%）、すすぎ20分の洗淨を5回くりかした。吸湿性：あらかじめ無水状態に調製した試料を水デシケーター中に24時間放置し、その間の重量の変化により測定。水蒸気透過能：ビーカーに水50gを入れ、これに試料をかぶせて、120時間放置し、その間の水の重量の変化により測定。衣服気候：温度20°C、湿度50%内外の状態を着用、熱電対により測定。

3. (1)吸湿性は繊維の種類による差がみられ、第1回の洗淨によりやや低下するが、それ以後はあまり変化しない。(2)水蒸気透過能は繊維の種類よりむしろ、厚さ、糸密度などの影響を受け、水分の蒸発率は6~10%である。洗淨によりやや増加する傾向がみとめられる。(3)衣服気候では胸部の温度32~33.4°C、湿度50~80%で、洗淨による影響については、(1)、(2)の結果との間に関連が見出された。